

彙 報

平成 29 年度広島大学日本語教育学講座言語・文化・教育研究会，特別講演会

◎第 21 回大会（平成 29 年 6 月 1 日）

○研究発表

【口頭発表】

帖佐幸樹（博士課程後期 2 年）

「トコロダ」と「状況ダ」

—両形式の類義性に着目して—

楊 潔氷（博士課程後期 2 年）

中国人上級日本語学習者の文の口頭翻訳課題における処理過程

【ポスター発表】

伊 順達（博士課程前期 2 年）・王 詩凝（博士課程前期 2 年）・常 笑（博士課程前期 2 年）

LINE 接触場面における会話終結部の研究

—日本語母語話者と中国人日本語学習者の「誘い」談話の「承諾」場面を中心に—

森重里保（博士課程前期 2 年）

多読活動の実践と課題

—クロアチア・プーラ大学での授業に焦点をあてて—

◎第 22 回大会（平成 29 年 11 月 2 日）

○研究発表

【口頭発表】

周 密（博士課程後期 2 年）

日本語の歌詞に現れるジェンダー

—女性像の変遷を中心に—

陳 真（博士課程後期 2 年）

ナラティブにおける評価構造の分類と機能について

龔 芳舟（博士課程前期 2 年）・成 利楽（博士課程前期 2 年）

「美味しさ」に関する言語的・非言語的特徴

—「マツコの知らない世界」を対象として—

【ポスター発表】

岡田 信（博士課程前期 2 年）

日本語の普通体基調会話における独話スタイル発話の機能

吉村 瑞希（博士課程前期 3 年）

日本生育 CLD 児のプレリテラシーの発達

—モノリンガル児の音韻意識との比較検証—

李 楽蒙（博士課程前期 2 年）・楊 文穎（博士課程前期 2 年）・楊 夢月（博士課程前期 2 年）

日本語母語話者と上級中国人日本語学習者の目上への「ほめ」のあり方

—アンケート調査を用いて—

邵 雲彩（博士課程前期 2 年）

中国人を母語とする日本語学習者の読解における音読と黙読の効果

—文章理解度と音韻再生に対する作動記憶容量の影響—

王 子琦（博士課程前期 2 年）

中国語を母語とする日本語学習者の単語認知能力と聴解力の関係

丁 俊（博士課程前期 2 年）

JSL 生徒への高校入試国語科読解支援におけるスキファールディング

—母語支援者による多肢選択問題の解答支援に着目して—

2017 年度（平成 29 年度） 日本語教育学講座 歳時記

2017 年（平成 29 年）

4 月 3 日	入学式
4 日	新入生ガイダンス（学部・大学院）
7 日	在学生前期ガイダンス（2 年生～過年度生）
16 日	新入生オリエンテーション行事（於：西条共同研修センター）
6 月 1 日	第 21 回広島大学日本語教育学講座 言語・文化・教育研究会
7 月 27 日	卒業論文中間発表会
7 月 31 日	修士論文中間発表会
8 月 1 日～4 日	青木 博史先生（九州大学・准教授）集中講義
8 月 1 日～4 日	前田 直子先生（学習院大学・教授）集中講義
	大学院教育学研究科（博士課程前期）入学試験（一般選抜・社会人特別選抜）
9 月 28 日	在学生後期ガイダンス（1 年生・2 年生）
10 月 4 日	在学生後期ガイダンス（3 年生・4 年生・過年度生）
11 月 2 日	第 22 回広島大学日本語教育学講座 言語・文化・教育研究会
11 月 24 日	AO 選抜（総合評価方式・フェニックス方式）

2018 年（平成 30 年）

2 月 9 日	修士論文審査会
2 月 13 日	卒業論文発表会
2 月 15 日～16 日	大学院教育学研究科入学試験 博士課程前期 （一般選抜第二次・社会人特別選抜第二次・外国人留学生特別選抜） 博士課程後期 （一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生特別選抜）
2 月 19 日～23 日	小河原義朗先生（東北大学・准教授）集中講義
2 月 25 日	広島大学一般入試（前期日程）
3 月 23 日	学位記授与式

日本語教育学講座 教職員名簿

2017 年度（平成 29 年度）

講座主任	西原 大輔							
教授	白川 博之	仁科 陽江	畑佐 由紀子	松見 法男	柳澤 浩哉			
准教授	永田 良太	西村 大志	渡部 倫子					
講師	金 愛蘭							
事務補佐員	山田 典子							
教育研究補助職員	柳本 大地*							

*2017 年度より当講座所属

非常勤講師授業科目等

(学部)

日本語の変遷

日本語教育学特講Ⅴ

日本語の音声と発音

日本語の文法

青木 博史先生（九州大学・准教授）

前田 直子先生（学習院大学・教授）

小河原義朗先生（東北大学・准教授）

中石 ゆうこ先生（県立広島大学・助教）

2017 年度（平成 30 年度）論文題目一覧（学生番号順）

博士論文（2017 年度）

氏 名	指導教員 (主査)	称 号	論 文 題 目
濱田 典子	畑佐由紀子	博士（教育学）	タスクの認知的複雑さが学習者の言語形式への焦点化と言語産出に与える影響
張 麗	畑佐由紀子	博士（教育学）	中国人上級日本語学習者における間接発話行為の理解に関する研究—不同意発話行為を中心に—
長野 真澄	松見 法男	博士（教育学）	ベトナム人日本語学習者における日本語漢字単語の記憶と処理—越日 2 言語間の使用漢字の異同と音韻類似性を操作した実験的検討—

修士論文（2017 年度）

氏 名	指導教員	論 文 題 目
吉村 瑞希	渡部 倫子	日本生育 CLD 児のプレリテラシーの発達 —ひらがな音読力に必要な認知的要因の検討—
岩井 実里	渡部 倫子	子どもの日本語学習に対するベトナム人保護者の関与 —保護者の言語学習ビリーフと日本語習熟度との関連—
森重 里保	渡部 倫子	外国人児童生徒のための JSL 対話型アセスメント DLA<話す>認知タスクの検討
山本 健太	畑佐由紀子	アクセント型及び促音位置の違いが促音の知覚範疇化に与える影響 —中国語母語話者を対象として—
伊 順達	松見 法男	中国人上級日本語学習者の文章理解と記憶に及ぼす説明予期の効果 —読解中のメモ行為と質問作成活動を操作した実験的検討—
王 子琦	松見 法男	中国語を母語とする日本語学習者の単語認知能力と聴解力の関係
王 詩凝	永田 良太	意見交渉談話における確認要求表現の使用に関する研究 —「よね」「じゃないか」「かな」「だろう」に着目して—
岡田 信	白川 博之	日本語の会話場面にみられる独話形式の発話 —独話体発話と独話スタイル発話—
龔 芳舟	畑佐由紀子	接触場面における助言発話行為の分析
邵 雲彩	松見 法男	中国語を母語とする日本語学習者の読みにおける音読と黙読の効果 —意味情報の理解と音韻情報の記憶に対する作動記憶容量の影響—
常 笑	松見 法男	中国語を母語とする日本語学習者の聴覚呈示における文記憶の分散効果
成 利榮	渡部 倫子	中国の日本語専攻生が求める「優れた」日本語教師の行動特性 —学習年数と教師の母語による相違—
丁 俊	渡部 倫子	現代文読解テスト指導におけるスキュフォールディング —JSL 生徒のテスト・テイキング・ストラテジーと母語支援経験の有無に着目して—

楊 文穎	松見 法男	中日漢字の形態・音韻類似性が中国人上級学習者の日本語漢字単語の口頭翻訳課題に及ぼす影響 — 一文の先行呈示事態における検討 —
楊 夢月	永田 良太	日本語会話における中途終了型発話の使用に関する考察 — 日本語母語話者と中国語を母語とする上級日本語学習者を対象に —
林 韻	松見 法男	シャドーイングが中国人日本語学習者のリスニング力とスピーキング力に与える効果 — 単語認知速度の視点から —

卒業論文 (2017 年度)

氏 名	指導教員	論 文 題 目
岡部 桂	柳澤 浩哉	日本語字幕翻訳研究 — 字幕翻訳で抜け落ちてしまう情報 —
益川 香苗	柳澤 浩哉	映画において人物造形の道具として使われるレトリック — 映画『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』を事例に —
山本 朋佳	西原 大輔	夏目漱石の俳句とシェイクスピア
金橋 希歩	西原 大輔	中島敦「古譚」論 — 「声」への憧憬 —
西村 隼亮	渡部 倫子	日本語口頭運用能力に対する Can-do statements を用いた自己評価の妥当性 — 学習者の属性による比較から —
多田 鼓	西原 大輔	東野圭吾『分身』論 — 科学と医療と人間の心 —
道法 愛	白川 博之	シナイが表す「未完了」について — シテイナイと比較して —
藤田 舞	西原 大輔	宮沢賢治「どんぐりと山猫」「注文の多い料理店」の山猫観
堤 俊介	柳澤 浩哉	ファッション誌の表現の変遷 — 若年層向け女性誌『non・no』を中心に —
濱本 菜摘	永田 良太	若者における「大丈夫」の使用実態
山村 真由	松見 法男	イメージ教示が第二言語としての日本語のことわざの記憶に及ぼす効果
田栗 和馬	永田 良太	日本語における「申し出」に対する「応答」
西廣 香奈	柳澤 浩哉	『リーガル・ハイ』における主人公の話術について — レトリックの観点から —
山崎佳那子	永田 良太	日本語母語話者に見られるあいづちのスピーチレベル — 親疎関係に着目して —
青木 啓太	西村 大志	ギャンブル依存症にみる医療化
分藤 李奈	西村 大志	「イケメン」の定義と社会の変遷
浅井 ひなの	西村 大志	救済としての新宗教 — 映画・漫画にみる新宗教 —
内田 芹香	柳澤 浩哉	自動車カタログの分析 — カタログから読みとれるプリウスの販売戦略 —
中島 千恵	松見 法男	中国語を母語とする上級日本語学習者における音読と記憶の関係 — 学習者の作動記憶容量の視点から —

宮本 珠里	松見 法男	中国人日本語学習者の学習効果の個人差について —原因帰属と自己効力感の視点から—
齋藤 真歩	金 愛蘭	災害時の効果的な避難勧告伝達表現について
小土井智子	永田 良太	発話の重なりと沈黙 —対面場面と非対面場面での男女差に着目して—
山中宗一郎	金 愛蘭	感情形容詞のもつ属性形容詞的性質について —ナツカシイを中心とした考察—
篠原 裕貴	西村 大志	笑いの構造についての考察 —漫才とコントの融合について—
山本 美緒	西原 大輔	小山田浩子「工場」における色と匂いの研究
高木 美里	柳澤 浩哉	テレビドラマ「カルテット」研究 —シナリオ技法からみる脚本の精緻さ—
吉成 美和	西村 隼亮	「やさしい日本語」における情報の付加 —書き換えマニュアルの検討—
三浦 広騎	永田 良太	非対面場面における言語行動の地域差 —ポライトネスの観点から—
森脇 麻由	仁科 陽江	所有表現についての類型論的考察 —所有者昇格と身体部分の拡張性—
中島 淳	永田 良太	現代日本語の二人称代名詞「あなた」について —日本語母語話者と日本語学習者の使用意識—
大上 美紀	柳澤 浩哉	李相日監督作品から読み取る監督が描こうとしたもの

執筆者紹介

西原	大輔	（日本語教育学講座	教授）
松見	法男	（日本語教育学講座	教授）
永田	良太	（日本語教育学講座	准教授）
柳本	大地	（日本語教育学講座	教育研究補助職員）
徐	暢	（日本語教育学講座	博士課程後期大学院生）
成	利楽	（日本語教育学講座	博士課程前期大学院生）
龔	方舟	（日本語教育学講座	博士課程前期大学院生）
岩井	実里	（日本語教育学講座	博士課程前期大学院生）
陳	亭宇	（日本語教育学講座	博士課程前期大学院生）
林	婉琪	（日本語教育学講座	博士課程前期大学院生）
毛	炫琇	（日本語教育学講座	博士課程前期大学院生）
錢	静宜	（日本語教育学講座	博士課程前期大学院生）
竹中	典子	（日本語教育学講座	研究生）

第28号 紀要編集委員会

金 愛蘭・柳本大地

編集後記

広島大学日本語教育研究』第28号をお届けします。本号には、「論文」2編と「研究ノート」1編の3編が掲載されています。例年に比べて少ない数と言えます。積極的な投稿を期待しています。

本紀要は、今号（第28号）から電子化することとなりました。従来、紙媒体での発行としていましたが、今号以降、電子版の論文のみの発行となります。これには講座予算の削減も理由の一つですが、近年、電子化のメリットとして挙げられる「入手のしやすさ」という点が大きな理由の一つです。紙媒体ならではのメリット（たとえば、パラパラ読みが可能であるなど）も捨てがたいところですが、ウェブを通じて国内外から簡単に論文が閲覧できるようになり、より多くの人々の目にふれてもらえるという点を重視し、このたび電子化を決めました。電子化に伴い、投稿規定の変更があります。投稿の際には、講座ホームページ上の投稿規定を必ずご確認ください。

今年度は、前年度の中村先生と倉地先生のご退職に加え、白川先生のサバティカルもあり、少しさびしい1年だったように思います。来年度は中山亜希子先生（ご専門は異文化間教育）をお迎えし、さらに講座を盛り上げていきたいと思っています。

（文責：金）